

## 思いを込めて「ご安全に」 死亡災害多発に歯止めを！

基幹労連における死亡災害発生件数は、調査開始した 2004 年以降減少傾向にあるものの、人ひとりの命の尊さと、ご遺族はもとより、被災者に関わる全ての方々への心の痛み、そして何よりも当事者である仲間の無念を思うと断腸の思いです。

2024 年が始まって 3 カ月、基幹労連に集う全ての組織の思いは、重大災害・死亡災害ゼロ。労使ともに、まずは「安全と健康の確保」でスタートしたはずですが。

しかしながら、関係者の努力は十分に窺い知るところですが、極めて遺憾なことに、この 3 カ月で詳細確認中を含め 5 人もの尊い命が失われました。危機的状況と言わざるを得ません。

被災された方々には、それぞれ家族があります。職場の仲間がいます。

自らに置き換え死亡災害の事象と、その後の身の回りの出来事を考えてみてください。想像もし得ないほど、つらく苦しい思いがこみ上げ、胸の張り裂ける思いになることは間違いありません。

個々の災害の原因・分析は続いています。作業ルール、行動、設備不備・不具合など、これまでの災害を教訓として活かされているか、それぞれの職場で、今一度、確認をお願いします。

夢と希望をもって働く職場で決して命を落とすようなことがあってはなりません。もっともっと臆病になってください。

そして、決めたこと・決められたこと「ルール」をしっかり守ってください。我が身を守り、仲間を守るためのルールの徹底を互いが遠慮なく指摘し合い、実行に移してください。

「ご安全に」の声掛けは、「仲間の安全と健康を願い、自らの誓いを込めた挨拶」。笑顔で出勤し、笑顔で帰宅させることは労使の責務。命の尊さを改めて認識し、尊い教訓を胸に刻み、災害の連鎖に何としても歯止めをかけましょう。

ご安全に

2024 年 3 月 26 日

日本基幹産業労働組合連合会  
事務局長 石橋 学